

30年度第1回そだつ部会議事録

日 時	2018年4月24日(火) 10:00～
場 所	地域連携交流施設 1階 地域活動室
テーマ	1、本日参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内容	<p>1. 参加メンバー：10名</p> <p>2. 協議課題</p> <p>○自己紹介ワーク グループごとに共通点と、自分だけの周りと違う点を書きだし、自己紹介とした。初めての人はもちろん、知っている人同士でも新たな一面を垣間見ることができた</p> <p>○播磨町地域自立支援協議会とは</p> <p>★この協議会は、障がいのある人の暮らしに関する個別課題・地域課題に取り組むことを基本にしています</p> <p>★この協議会は、本人を含む当事者・地域住民団体・事業所・雇用・教育・保健医療・福祉などの関係者からなる組織の中で、相談支援が個々に行き届くように、人と人をネットワークする役割を果たしていくものです</p> <p>★この協議会は、障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画が実情に合うように協議検討し、組織構成員全てが、課題解決に向けて、それぞれの立場で何が可能か、役割分担を明確にします</p> <p>○29年度の活動の振り返り</p> <p>○30年度のそだつ部会の重点項目検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者計画を読み、重点項目を検討 <p>A グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけはしの活用促進 ・かけはしの周知「利用してよかった」経験ができるような活動 ・就学についての情報提供 ・子育て相談(日常的な事) ・一貫した支援が受けられるように活動する ・本人・家族を核とした支援ネットワークの促進 ・関係機関と連携した教育相談 ・地域との関わり、社会参加の状況 ・社会参加の機会を提供 ・障がいや困りごとの啓発の方法を検討 ・発達障害、高次脳機能障害、こころの病やストレスに関する知識の普及や事例の相談 ・地域住民の方への障がい理解の促進 ・研修会、啓発→実際に困っている具体的なことを地域の方に知っていただく

- ・これまで研修などの際チラシをまいたりして周知している→興味をもっている人や民生委員はくるが本当に知ってもらいたい人は興味があるとは限らない。そういう人も含めて分かりやすく障害について紹介する機会→啓発対象の幅を広げ、「発達障害とは？」というような基本中の基本の初級編から中級編の内容の研修会を開いてはどうか
- ・かけはしの活用について、CACE のありかたについて→今は年に二回だが、もっと気軽に集まる場、話すだけの場があってもいい
- ・実際にお子さんが参加していく具体的な活動機会の検討

B グループ

- ・ママの困ったにこたえる
- ・知ってもらう機会、子育て Q&A
- ・かけはしを活用していない人が多いのでそれを改善すべき→特定の人しか来ない、支援級のママ達の中にもかけはしを知らない人がいる。学校がらみで宣伝することも考える
- ・気軽に集まれるママの会として、地域連携交流施設で「bubu の会」を行っている
- ・診察時のコミュニケーション支援の充実
- ・個別課題、地域課題をどうやって吸い上げるか
- ・ネットワークとして、どこどこが繋がっているのか、切れているのかを浮き彫りに→自立支援でどの程度繋がられるのか、どう繋ぐのか
- ・保幼→小→中への情報共有→切れ目のない一貫した情報共有
- ・発達障がい等に関する知識の周知(住民)
- ・共に育つ、人も育つ、地域も育つ
- ・「共生」を考える
- ・地域活動への参加 取り出し→居場所、共生
- ・困っていることを知る、伝える関係づくり→手段の一つとしてかけはし
- ・かけはしは学齢期の子どものもものと認識されがち→大人バージョンのかけはし(親心のノートのような)
- ・伝えられる場を設ける 言語で伝えられない子に対してどのような支援ができるのか
- ・学校生活について
- ・一般の方の障がいに対する知識はまだまだない。「困った子」ではなく「その子が困っている」
- ・そもそも自立支援協議会でできることは何なのか?
- ・計画アンケートで困っていることとして一番多かったのが「困っていることを伝えられない」→何が困っているのかを察するスキルのある人材の育成

□まとめ

- 障害のことをほとんど知らない、これまで研修会に参加していない層に向け、「発達障害とは？」等基本中の基本から中級程度までの分かりやすい内容の研修会・啓発を行う
- かけはしの活用、かけはし CAFÉ のあり方検討 大人向けかけはしについて
- お子さんの社会参加・活動の機会について
- 支援のネットワークの現状把握と構築について
- 「共生」とは何か?について考える
- 自立支援協議会でできることは何か、協議会の立ち位置、あり方について
これらの意見を次回運営会議にて改めて検討し方針を決定する。

○部長・副部長の選出について

新計画のもと、まもる部会が設立され、新体制となるのを機に部長制をとることとする。

30 年度そだつ部会の部長は小平さん、副部長は一井さんとなった

3. その他

○推進会議・全体研修会

- ・推進会議：6 月 20 日(水)10 時～播磨町役場 3 階 BC 会議室

- ・全体研修会

第 1 回 8 月 10 日(金) 13 時～播磨町健康いきいきセンター

講師：兵庫県立尼崎総合医療センター 石原剛広氏 愛着形成

第 2 回 19 年 2 月 7 日(木) 中央公民館

講師：濱口 直哉氏 合理的配慮 第二弾

- ・6 月 2 日(土)相談支援ネットワークの総会が加古川福社会館で開催

その場で記念講演会も行う(誰でも参加可)。講師：厚生労働省相談支援専門官 大平氏

4. 次回開催日の調整

6 月 26 日(火)10:00～地域連携交流施設 1 階